

令和 7年度 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 サービス評価表

1. 事業所情報

事業所番号	2190500294	事業開始年月日	平成28年3月18日
法人名	医療法人社団誠道会		
事業所名	24時間訪問介護看護あすか		
事業所所在地	(509-0124)		
	各務原市鵜沼山崎町6-8-2		
電話番号	058-384-2455	FAX番号	058-384-2102
施設等の区分	一体型	サービス提供地域	各務原市 坂祝町
自己評価作成日	令和7年1月30日		

3. 法人・事業所の特徴

法人の特徴	地域に必要とされる医療・介護・福祉の提供を目標とします
事業所の特徴	定期巡回訪問介護看護の特徴である柔軟なサービスを提供します。

2. 介護・医療連携推進会議

介護・医療連携推進会議への公表日	令和7年2月12日
開催場所	各務原リハビリテーション病院 外来待合室

自己評価・外部評価 評価表

タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			でき て い る	る ほ ぼ で き て い る	こ と が 多 い な い	全 く で き て い ない		
I 構造評価（Structure） [適切な事業運営]								
(1) 理念の明確化								
サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	○				事業所内に提示している。	
(2) 適切な人材の育成								
専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している		○			利用者のニーズに寄り添ったケアが提供できるようミーティングで話し合いをしている。	適正なサービス提供ができるよう情報共有がされている。
	3	運営者は、専門技術（アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など）の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している		○			研修等への参加はなかなか進まない現状だが日々の業務の中でのアセスメント、判断は情報共有し皆ができるようにしている。	法人内の勉強会もあると思う。実際にどのような勉強会に参加しているのか提示されるとよい。
	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している		○			誰が訪問してもケアの落ちがないようチェック表を各利用者ごとに作成し毎訪問時確認している。	業務チェック表を利用者宅に置き毎回チェックすることで一定の質を確保したケアが行える工夫をされており良いと思います。
介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている	○				利用者の状態に変化がある際はその日の担当が内容を共有するために発信することになっている。	医療的、介護的視点での相互理解をどのようにされているのか知りたい

(3) 適切な組織体制の構築								
組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている		○			全スタッフで順番に夜間訪問を行ったことはあるが現時点では日勤帯と夜間の待機及び随時対応で対応している。	24時間対応、夜間も随時対応していただければ安心につながる。
介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている		○			規定に従い2回/年開催している。いただいた助言、提案は議事録に残し生かせるよう努力している。	会議での意見等をどのように活かしたかを次回会議で発表いただくのとわかりやすいと思う
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備								
利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	○				グループメールを使い利用者の状態、変化、訪問時の注意点等を日々共有している。	ICTを上手に活用されていると思う
職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)			○		法人のルールに沿い車両点検、毎日の運転前のチェックを行っている。	災害や感染症発生時のDCPの作成について進行状況を教えてほしい
利用者等に係る安全管理	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている		○			カルテ、利用情報は事業所外持ち出し禁止としている。各自のメモは利用者の氏名等が特定できないようインシヤルで書くようにしている。	個人情報の取扱いによく配慮されていると思う

Ⅱ 過程評価 (Process)								
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供								
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成								
利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている		○			訪問時間、ケア内容の配置等、利用者の希望をできるだけ取り入れている。	6のコメント同様1日の生活リズムに合わせて夜間帯のサービス提供ができると思う
	12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている	○				毎日出勤者で情報交換を行い必要時ケアの妥当性、改善の余地を話し合う。	
利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている	○					
	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないよう、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている	○				転倒、褥瘡発生、誤嚥等のリスクは利用者や家族に常に喚起し在宅生活が続けられるよう福祉用具の選択、環境整備等を行っている。	ACPの視点等どのように意向を確認されているか知りたいです
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し								
計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	○				利用者の状態変化、介護者の要請に応じ臨機応変に訪問を行っている。	実際のどの程度の実績があるのか報告があるとわかりやすい
継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている	○				毎日数回訪問することで変化の早期発見、アセスメント、対応ができている。	状況変化に対応した計画内容となっておりその中でも利用者ニーズに応じており良いと思います。

(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供								
介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を活かした役割分担が行われている		○			その日の状態を情報共有し適宜訪問配置の交換や注意点の共有をしている。	担当ケアマネジャーとの情報共有し対応されているとの報告を受け良く連携が図れていると思います。
看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	○				日々情報交換、アセスメント、今後のケアの方向性等について話し合われている。	医療的な助言等、事業所内でミーティングの時間に勉強会としてもいいのではないのでしょうか
(4)利用者等との情報及び意識の共有								
利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている		○			利用開始時に利用者契約書・重要事項説明書に沿って利用者及び家族の方に説明し、日常的にも言葉にして話すようにしている。	
利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている		○			利用者が主体的に目標に向かって生活ができるよう、意識付けを促すよう心掛けている。	日々の訪問で利用者の意識を高めるような働きかけができていると聞きました。
	21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	○				電話、手紙、メール等を緊急性によって使い分け情報共有している。	訪問当日中に様々な方法で対応され当てていると聞きました。

2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント								
(1) 共同ケアマネジメントの実践								
利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	○				月1回の報告書、緊急時は電話連絡等で報告、相談、対応の協議を行っている。	連絡手段を電話や報告書等使い分け連携を図っていると聞きました。
	23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている		○			福祉用具、訪問入浴、デイサービス、ショートステイ、地域のシルバー人材等の利用を提案している。	近隣ケアや地域の助け合い等インフォーマルサービスの利用提案もされている。今後ともケアプランへの積極的な提案をお願いします。
定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	○				サービス担当者会議、報告書、必要時電話やFAXでケアマネジャーへ情報提供、相談を行っている。	
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献								
利用者の在宅生活の継続に必要な、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)		○			福祉用具、訪問入浴、デイサービス、ショートステイ、地域のシルバー人材等の利用を提案している。	事例紹介があると取り組みの様子がわかりやすいと思いました。
	26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)	○				必要時、時間外や算定ができない場合でもサービス提供をしている。	どののくらい(何件・時間的)サービス提供されているのか知りたいです。→主に退院日の自宅への移動介助、死亡後の対応等です。
多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)	○				当事業所でできること、できないことをケアマネジャーと情報共有し積極的に解決に向けて関わっている。	

3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画								
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案								
介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている	○				ホームページに掲載あり。	
	29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている		○			機会を見つけ行っている。	各地区で説明会を開催されていると聞きました。
(2) まちづくりへの参画								
行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している		○			住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう創設されたサービスであることを職員間でも確認している。	
サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	○				現在は各務原市内、坂祝町で在宅サービス提供をしている。依頼はすべてお受けしている。	
安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等（保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等）が行われている（※任意評価項目）		○				
Ⅲ 結果評価（Outcome）								
サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている		○			概ね達成できており継続していく必要がある。	
在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている		○			満足度調査では8割以上がサービスに満足していると回答している。	今後も利用者が安心してサービスを提供していただきたい。満足以外の回答状況はどのようなか。